

地元事業者3人のつながりからはじめる企業主導のまちづくり

【活動概要・他でもありそうな課題】

《活動》

地域活性化のため、根尾地区特有の資源を生かして地元の事業者が中心となって活動している。具体的には、地域住民を巻き込んだイベントを開催しており、今後は国の補助金制度も利用してグリーンツーリズムに取り組んでいく。

《課題》

- 少子高齢化
- ライフラインが弱い
(店が少ない、デイサービスがない⇒人が生活しづらい)
- 季節によって観光客数の増減が激しい



創立メンバー3人を
中心に協議会の
運営を行っている

【マネできそうな手順や実例】

3人でのスタートから地域内外で繋げるコミュニティの拡大

《手順》

- ① **創立**：その地域に関心がある人が身近な人への相談・巻き込みから **コミュニティ（仲間）** をつくり、考えを明確に表現する。興味関心のある事業者を運営メンバーに取り込むとより円滑。
 - ▶元々、友好関係があった根尾開発と根尾タクシーの代表者が、「地域課題をどうにかしたい！」という思いから根尾地域活性化推進協議会を立ち上げた。
- ② **広げる**：支持してくれる企業や店舗を増やしてコミュニティの幅を広げる。
 - ▶自分たちの想いや活動を根尾に携わる企業（JAや樽見鉄道など）、団体（消防団等）に声をかけてコミュニティを広げた。また、他の地域の視察なども行い外部とのつながりを作った。
- ③ **イベントの計画**：アイデア出し＋国や地域の補助金の活用を行う。
 - ▶林業やBMXといった地域特有の資源をメインにしたイベントの計画。
補助金制度の専門家からのアドバイスを受け、農泊事業やグリーンツーリズムなどの国の補助金を活用した地域活性化に取り組んだ。
- ④ **イベントの実施**：地域の人たちに声掛けをして、協力をお願いする。
 - ▶活動に興味をもった企業から協賛金をいただき、地元消防団などにも協力してもらいイベントを実施した。

《マネポイント》

身近な人を巻き込んでやりたいことを**自由に発想**してみる。

- 補助金の活用や協力を募って実施してみる。
- 1000人の集客があるなど目に見える**成果**の獲得。
- 外部からの**応援や評価**がもらえる。
- 新たな価値の創出につながる。



【獲得できた効果】

《実施者から見た効果》

- 本巣市20周年式典の登壇者として呼ばれる
⇒市からも期待される存在である。
- 地域の方々が喜んでくださることが自分たちの喜び
- 実施者間の横のつながりが強くなり、この活動自体が人生を豊かにする。
- マルシェは1000人ほどの集客に成功。

《住民・市民から見た効果》

- 誰かがいつかやってくれるのを待っていたため、その需要を解決する組織ができた。
- 地域の話題性向上
- 新たな観光資源の誕生（グリーンツーリズム関係）
- 「次もやりたい」と思うような楽しさの発生⇒地域住民の満足度の向上
- 林業に関心がわき、若者の地域離れ防止抑制